

環境に係る情報協議会

国営かんがい排水事業 大原二期地区

1. 環境に対する考え方

《農村環境の現状と課題》（洞爺湖町及び豊浦町「田園環境整備マスタープラン」より）

【現状】

洞爺湖町 洞爺湖と有珠山と噴火湾に囲まれた自然豊かなまちであり、これらの自然環境はくらしにゆとりを与えるだけでなく大気や水質の浄化作用を持ち、多様な生物の生息地となっている。

豊浦町 南は内浦湾（噴火湾）に面し、対岸に秀峰駒ヶ岳をはじめ、渡島連山を眺望する。
地勢は概ね傾斜地をなし、一部山岳地帯を除き、農耕地、牧野などの生産緑地帯を形成している。

【課題】

洞爺湖町 自然環境の保全に向け、環境への負荷を配慮した適切な利用、管理に努めていく必要がある。

豊浦町 環境サミット開催地として森林資源、重要な植生や景勝地等優れた自然環境の保護・保全。

《環境保全の基本的考え方》（洞爺湖町及び豊浦町「田園環境整備マスタープラン」より）

洞爺湖町 優れた自然環境、景観の次世代への継承、森林や農地の保全、景観形成機能の持続的な発揮を見据え、環境・景観保全を基調とした土地利用を推進する。

豊浦町 周辺の自然環境や景観、歴史的文化遺産の分布状況を考慮するとともに、周辺の生態系や景観に配慮しつつ農業基盤整備を行う。

2. 環境配慮計画

《基本方針》

地域の自然環境や環境保全に対する基本的な考え方を踏まえ、地域の自然環境・農村景観として重要な河川や山林等における生物の生息環境保全に配慮した整備を進める。

《取組内容》

(1) 生態系への配慮

- ・工事実施前に鳥類の営巣状況の確認を行い、営巣が確認された場合は、繁殖への影響が低い時期を施工時期として設定する。
- ・用水路改修の工事中は、下流河川の魚類の生息環境に配慮し、濁水処理施設を設置する。

(2) 景観への配慮

- ・頭首工ゲート類等の改修の際の塗装色について、河川景観との調和が図られるよう、明度・彩度を抑えた色彩を採用する。